



H18. 3.31 1186  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行 = 指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 第83回漁協新職員研修会開催

本会では3月28、29日の両日、県水産会館において、この4月から漁協に採用される新人職員を対象に、第83回漁協新職員研修会を開催しました。これは、社会人の一般的なマナーを学ぶとともに、漁協職員としての自覚を高め、その職務に対する基礎知識を習得することを目的に、県下9漁協及び県信漁連から14名の参加がありました。

初日は、本会森組合課長兼合併推進室長より、「漁協組織の現状と漁協職員としての心構え」について講義が行われ、引き続き共水連県事務所小林次長代理、県信漁連東出参事兼総務部長より、それぞれ系統団体事業の紹介が行われました。この後、本会河尻指導担当参事より「静岡県の水産業について」と題し講義が行われました。

二日目は、NTTマーケティングアクト・マナーデザイナー石川幸子氏を講師として、新社会人としての接客、電話対応等のビジネスマナーを研修しました。

今回の参加人数の内訳は次のとおりです。

下田市漁協(男1名) 安良里漁協(男1名) 沼津我入道漁協(男1名) 焼津漁協(男4名) 御前崎漁協(男1名) 遠州漁協(女1名) 焼津養鰻漁協(男1名) 大井川養殖漁協(男1名、女1名) 浜名湖養魚漁協(男1名) 県信漁連(男1名)

### 2. コイヘルペスウイルスまん延防止策を強化

県では、4月1日からコイヘルペスウイルス(KHV)のまん延防止策として、コイの放流禁止水域の指定などを盛り込んだ防止策の有効期間を、従来の1年から2年に延長するほか、放流条件を厳格化します。

禁止水域以外での放流条件については、放流前2ヶ月以内に、KHVが発病しやすい水温(20 から25 )で3週間以上飼育し、異常がないことを確認することが加えられました。

現在、狩野川本流と支流や富士川本流などの6水域が、生きたコイの持ち出し、放流、遺棄の禁止水域となっています。

なお、これまでの県内のKHV発生件数は13件となっています。

### 3. 平成18年4～6月の県内漁海況予測を発表

- 県水産試験場 -

県水産試験場では、このほど平成18年4～6月の漁海況予測を次のとおり発表しました。

海況： 黒潮 / 期間を通じてN型基調で推移します。 沿岸水温 / 黒潮の小規模な離接岸変動に伴って黒潮系水が沖合から一時的に波及することがあり、伊豆諸島南部海域は黒潮の外側域となります。

遠州灘～駿河湾：「平年並み」、一時的に「やや高め」、相模湾「やや低め」、一時的に「高め」

マサバ及びゴマサバの予測： 来遊量 / マサバは低水準ですが、2歳魚は前年を上回ります。主体となるゴマサバ2歳魚は前年を上回り、1歳魚は下回ります。3歳以上は少なく、サバ類全体としては、前年を下回ります。 漁期・漁場 / ゴマサバの漁場は期を通じ

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

て三宅島周辺ですが、伊豆諸島北部海域や銭洲の水温が上昇した場合には、それらの海域でも漁場が形成され、マサバも混獲されます。 魚体 / ゴマサバは26～31 $\mu$ (2歳魚)が主体で、32～38 $\mu$ (3・4歳魚)が混じり、マサバは30～32 $\mu$ (2歳魚)が主体で33 $\mu$ 以上(3歳以上)が混じります。

マイワシの予測： 来遊量 / 成魚・未成魚は、低水準で前年並みで、シラスは05年同様の低水準です。 漁期・漁場 / 成魚・未成魚は、全期間にわたり散発的な漁で終始し、シラスは5月までです。 魚体 / 成魚・未成魚は、被鱗体長15～18 $\mu$ の1歳魚が主体です。

カタクチイワシの予測： 来遊量 / 成魚・未成魚は、好調だった前年を下回り、シラスも前年を下回ります。 漁期・漁場 / 成魚・未成魚は、沿岸域を中心に全期間で、シラスは、4月下旬～5月上旬以降に漁が本格化します。春の産卵の主体となる2歳魚が少ないことから、春漁の水準は低くなると見込まれます。 魚体 / 成魚・未成魚は、被鱗体長10から12 $\mu$ の1歳魚主体です。

### 4. 体験学習施設「ウォット」でダイバーショーが人気

県水産試験場浜名湖分場の体験学習施設「ウォット」で、昨年夏より始めたダイバーと魚が触れ合うショーが人気を呼んでいます。

このショーは、浜名湖周辺で見られる魚など30種類余が飼育展示されている大水槽の中で、ダイバーが餌を手から魚に食べさせたり、水槽の前に集まった子供たちの質問に答えたりしています。また、ダイバーのヘルメットにはカメラがセットされていて、スズキ、クエ、アカエイ、ネコザメなどが餌を食べたり、泳ぎ回ったりする姿を水槽前のモニターテレビで、見ることもできます。

また同施設には、水槽に手をいれて魚に触れることができる「ふれあい水槽」、屋外の浅い水路で泳ぐメジナやカサゴなどに、餌を与えたり触ったりできる「タッチプール」など、魚と親しむコーナーが設けられています。 問合せ先：ウォット TEL:053-592-2880 ダイバーのショータイム：日曜日の午後1時45分から 休館日：月曜日

### 5. 本会人事異動 4月1日付で発令

本会では、4月1日付で職員の人事異動を発令しました。(カッコ内は旧役職)

総務部長 田中平八(総務部長兼総務課長) 漁政課 猪口収作(団体課長) 焼津事業所長兼購買課長 宮崎直樹(焼津事業所長) 西野朝善 焼津事業所販売課長(焼津事業所次長) 温水利用研究センター沼津分場長 稲葉義之(温水利用研究センター沼津分場長心得) 指導部次長兼漁協合併推進室長 森 幸裕(組合課長兼漁協合併推進室長) 石油課長 渡辺克己(石油課長心得) 組合課長心得兼漁協合併推進室池ヶ谷渉(組合課主任兼漁協合併推進室) 総務課長心得 森 真基(総務課長代理) 経理課長 青山一弘(経理課長心得) 焼津事業所購買課長代理 岩ヶ谷寿保(焼津事業所購買主任) 温水利用研究センター沼津分場主任 鈴木吉典(温水利用研究センター沼津分場生産担当主任) 温水利用研究センター生産担当主任 山下哲也 温水利用研究センター生産担当主任 石神一雄

会議・日程(4月4日(火)～4月17日(月))

- 既報分省略 -

4月17日(月) 県漁連・県信漁連 = 大漁祈願祭 (三島大社)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう